

いのちと暮らしが守られる公共サービスを

きました。どんな災害がいつ起きてもおかしくない時代に、自治体が自前の人材とスキルを確保しておくことの大切さを痛感します。

越谷市は来年度に向け職員を42人増員

越谷市議会12月定例会では、急増する福祉や医療のニーズに対応するため、来年度の職員定数を42人増員する職員定数条例改正案が提案されました。

主に要介護認定申請の増加など高齢化の進行への対応業務や、孤立した子育て・児童虐待に対応するために新設する子ども家庭センターの設置、また救急隊の増隊や市立病院の経営改善に向けた医療ソーシャルワーカーの増員など、市民のいのちと暮らしを守るために必要であると考えネットは賛成しました。しかし、議会ではさらなる人件費削減や民間委託を求める反対意見もあり賛否が大きく分かれたが賛成18・反対13で可決されました。

公共サービスは大切な市民の財産

今回の条例改正を受け、来年度越谷市の職員定数は全体で3,102人となります。単純に数字だけを見れば「多い」と感じ

るかもしれませんが、実際には会計年度任用職員としてさらに約1,300人の非正規職員が業務を担っています。非正規職員の9割が女性であり、身分や賃金が不安定な状況で相談業務など専門知識や経験が求められるハードな仕事をこなさなければならぬ「官製ワーキングプア」の問題もあります。

公共サービスを切り売りするのではなく、手厚くしていくことこそ、あらゆる災害に強く、貧困や格差を連鎖させないまちづくりにつながるのではないのでしょうか。



元旦に発生した能登半島地震により犠牲となられた方々へおみやみを申し上げますと、被災されたすべての方々に心よりお見舞いを申し上げます。

越谷市では1月3日に越谷・松伏水道企業団より富山県高岡市へ給水車と職員を派遣。10日には石川県珠洲市へトイレトレーラーと職員の派遣及び防災用ウェットティッシュ1,000個(埼玉県立大より)を提供しました。17日からは石川県輪島市へ保健師や事務職員を派遣するなど、現地のニーズに合わせ継続的に支援を続けています。

一日も早い日常への復旧を願うとともに、越谷市における災害時の取組についてもあらためて見直していきたいと思ひます。



珠洲市に派遣されたトイレトレーラー

あらゆる災害時に強い自治体とは

今回の震災、また今年の豪雨災害、コロナ禍などを経て感じることは、日頃から公共サービスの充実を図り、誰もが安心して暮らせる地域コミュニティをつくっておくことの大切さです。昨今、経費削減のために職員数を減らし、保育や教育、病院など市民の命を預かる業務を非正規職員の採用や民間委託で賄おうとする自治体が増えています。しかし、こうした流れは医療やケアの分野を市場に開いてしまうことになり、競争を招き質の低下につながります。コロナ禍においても、越谷市では保健所が設置されていたためドライブスルー検査の実施などの迅速な動きがで

埼玉県議会議員 辻こうじの



どうする？県立高校の共学化

「公立高校の男子校や女子校といった男女別学校を共学化すべき」。

県の第三者委員会から8月にこのような勧告が出たことをきっかけに、県教委は中高生や保護者に、高校を選ぶ際に共学か別学かを重視するかどうかを問うアンケート調査を実施しました。今後結果が公表され、今年8月に県としての方向性を出す方針です。

全国の公立高で男女別学校が今も残っているのは9県の44校。そのうち埼玉県立高は男子校5校、女子校7校の計12校で3割弱を占めます。

県の動きを受けて別学校の同窓会を中心に反対署名運動が始まるなどに、いかに熱を帯びて

きたこの問題。しかし、多様性が重要な要素となる現代の学校教育において、一方の性を排除しなければならない教育上の必要性はあるのでしょうか。

「別学はその学校の特色であり、選ぶ生徒が判断すればよい」との考え方もありますが、それは一方で「別学とは、その学校に入りたくても性別を理由に受験資格がない状態」でもありません。

男子校には女性校長などの女性管理職教員が極端に少ないなどの問題もあります。多様な魅力ある県立高校とはどのような空間であるべきか。未来志向で考えるときです。



埼玉県議会議員 辻こうじ

越谷市民ネットワーク議員



* レポートのポスティング協力者募集

年3回程度。ご自宅の周辺など少ない枚数でも結構です。

* 市民ネットワーク会員募集

越谷市民ネットワークに入会し一緒にまちを住みやすくしませんか。年会費は2000円です。

* カンパのお願い

越谷市民ネットワークの活動にご支援をお願いします。詳しくはHPか越谷市民ネットワーク事務局までご連絡ください。

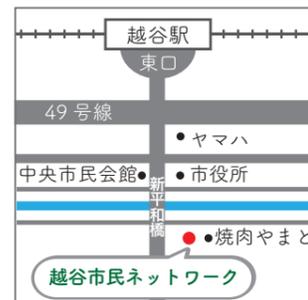


市民ネット3つのルール

- ①任期は最長3期12年で交代
- ②選挙はカンパとボランティア
- ③議員報酬はみんなの活動費

お問い合わせ

越谷市民ネットワーク
〒343-0023越谷市東越谷1-5-17-1F
TEL/FAX 048-962-8052
E-MAIL koshigaya.net@gmail.com



アンケートにご協力ください

今回のレポートでどの項目に関心を持ちましたか。

○をつけてください

- ・いのちと暮らしが守られる公共サービスを
- ・市民からの働きかけで、「越谷キエーロ」ついに誕生へ！！
- ・「こしがや子どもの食を考える会」の働きかけで保育所に越谷ふるさと米の活用が実現！
- ・市内の公園トイレを調査
- ・『ワタシタチハニングンダ』を上映しました
- ・けんけんGOGO県議会

その理由をお聞かせください。

県政・市政についての要望や気になっていることをご自由にお書きください